

2024.10.01 町田市の学校統合に異論を示した住民請願：学校請願 16×18

で不採択、問題多い計画

住民請願や議会の審議で問題を指摘されながらも、町田市は一度決めた公立小中学校の統廃合を強引に推進しています。前の議会では、最初に統廃合を進める成瀬地域（南成瀬小学校と南第二小学校を統合する）の廃校に伴う通学状況の改善を求めるスクールバスの必要性を求めた請願が採択されましたが、教育委員会は微細な問題という意識か、意に介さない対応で統合計画を進めています。



写真説明：この学校にも廃校された学校の児童が入る。今でも、全員の準備整理運動の隊形が取りにくい広さしか無い運動場である。

今期の議会では、町田市の統廃合計画の実施プランにもとづく小学校の運動場の面積が不足しているため、見直しが必要だと言う問題指摘が住民請願で出されました。本会議の討論で無所属会派の新井よしなお議員は、この面積問題に関して現行の計画では文科省の手引き＝「公立学校施設台帳作成提要」を無視した数値になっていること、教育委員会が例示する小山ヶ丘小学校の例の数値は、体育用具置き場などを含めない数値だと、請願者が文科省に確認した話を紹介して指摘しました。数は力と 16×18 で請願は退けられました。事実確認を無視した教育委員会の判断、学校統合の推進は、将来に禍根を残す結果をもたらすと考えています。